

富山県新型インフルエンザ等対策実地訓練

参考資料 3

○趣旨

新型インフルエンザ等感染症に機動的かつ的確に対応できる体制の整備を図るため、新型インフルエンザの県内発生を想定し、関係機関間との連絡調整や感染症指定医療機関における患者受入対応を想定した実地訓練を実施。

○日時 令和8年11月26日（木） 13:30～16:00

○場所 富山大学附属病院（第一種・第二種感染症指定医療機関）

○訓練実施者 富山大学附属病院、中部厚生センター、富山市保健所、富山県衛生研究所、富山県東部消防組合、県感染症・疾病対策課

○訓練設定

- ・ アフリカにおいて新型インフルエンザが発生。国内では東京で第1例目の感染者が確認されたが、県内では未発生である。
- ・ 11月、上市町内にてアフリカからの帰国者が発熱等の症状を呈し、厚生センターへ相談したところ、新型インフルエンザが疑われるが、一類感染症の可能性も否定できない事例と判断される。
- ・ 厚生センターからの要請を受け、感染症指定医療機関である富山大学附属病院にて患者の診察及び入院受入れを実施する。

○実施内容

- ・ 患者を救急車で富山大学附属病院に搬送、感染症病棟にて、診察・検体採取、一類感染症病床への入院までの一連の対応を実施。

狙い

- ・ 第一種感染症指定医療機関の指定を受けた富山大学附属病院において、一類感染症の可能性を否定できない患者の受入れ等を実施。衛生研究所も企画に関与し、感染症有事における関係者の初動対応を一連で確認、連携強化を図る。